

比較文化学者・作家 金文学氏

日本人はたくましさと自信を回復し アジアの発展に積極的に貢献すべき

■中国・韓国・日本の3カ国の事情に詳しい金文学氏は、それぞれの国の文化を紹介し、相互の理解を深めるための著書を精力的に執筆している。

■氏によれば、現代の日本人は「ニセ日本人」。日露戦争での勝利や、東アジア発展への貢献の実績を忘れ、または否定するのはおかしいと言いつつ。

■互いの文化を正確に理解することから、真の友好が始まると指摘する。

文化的コウモリの存在が 異文化間の理解を深める

昆吉則 金先生は中国のお生まれで、ご両親は韓国系。そして今は、日本にお住まいです。三つの国の事情に精通し、独自の視点でたくさんのご著書を発表されています。

しかし、マジナルマン、境界人として、精神的に様々な苦勞もあるのではありませんか。

金文学 僕はとても楽しんでやって

いますよ。

コウモリはどっちつかずというところで、普通あまり良く思われな生き物ですね。しかし今の時代、境界を越えて往来し、それぞれの文化、習慣を伝える文化的コウモリの役割はとても重要だと思えます。

と云うのは、自由主義か共産主義かというイデオロギーの時代が崩壊し、今はそれぞれの文化を省みる時代になっていますから。

昆 ヨーロッパには、国籍が三つぐらいある人というのも珍しくはない

ようです。それで、文化の相互理解という点で、ヨーロッパは我々アジアより先に行っている気がします。

金 私はそれが悔しい。日本、中国、韓国は同じ漢字文化圏で、しかもこの3カ国はアジアの中心的なメンバーです。ところが仲が悪い。

それでも、この3カ国には共通の文化があります。たとえば、この3カ国とも梅の花を大切に考える文化を持っている。だから、日本、中国、韓国を「梅の花文化圏」ととらえ、梅の絵を旗印にして、イデオロギーや偏見を超えた交流をしていくことができると思っています。

昆 私も、今後、アジア諸国もEUのようにまとまっていくはずだと思っています。ところが、そうした動きに対して、技術的にも経済的にも役割を果たせるはずの日本が、精神

的、文化的に去勢されてしまっているために、それを作っていくたくましさを失っていると思うのです。

金 そうです。今の日本人は、ニセ日本人ですよ。たとえば明治に活躍した優れた日本人とは違う。戦後の日本は何でも中途半端になって本来の姿を失い、米国の奴隷になった。

昔、モーリシャスという島にブタドリ（ドードー）という鳥がいました。島には食べ物があつて危険もないので飛ぶ必要がなくなり、歩くだけの鳥になった。今の日本人はそれです（ドードーは後に人と人が持ち込んだ動物のために絶滅した）。

昆 過去の悪い面しか伝えない歴史教育も問題です。日露戦争の勝利さえ、しばしば否定される始末です。

金 日露戦争でアジアの国が初めて白人の国を破ったことは、世界史の

中でも大きな事件です。当時のことを調べると、アジア中が熱狂したことがわかります。伊藤博文を殺した安重根ですら、非常に喜んでいました。

日本がアジアに果たした 貢献は正当に評価すべき

昆 ところが、今は戦前のすべてを否定するのが普通になっています。

かつて日本人が満州や朝鮮に行つて、人々を傷つけたことも、人々の誇りを奪ったこともあったのは間違いない事実です。けれど、各地の発展に果たした役割も小さくなくなつた。今、そのことを無視するのは、日本だけでなく、アジア全体の損失でもあると思うのですが。

金 物事には常に、二つの面があります。それなのに、今、日本人自身がマイナス面だけ言っているのは、精神的にダウンしている証拠です。

まず、教育にてこ入れすることです。そして自信と魂を回復することが大切ですよ。

昆 たとえば、満州で日本が果たした役割は何でしょうか。

金 日本人は満州の地域に稲作の文化を根付かせました。また、かつて満州地域は、文化・教育の面で遅れた地域でしたが、そこに日本人が入つて、経済、教育、いろいろな面で

レベルアップさせたのです。

日本が撤退して行つた後、毛沢東は何と言つたか。「我々には日本人が作った満州があるから、蒋介石と戦つても怖くない」と言つたのです。それだけ物資が豊富な地域となり、彼はそれを基盤として勝ちました。

昆 インフラも整備しました。

金 そうです。鉄道、学校、そして教育システムを整えました。

朝鮮半島では、日本はハンゲルの普及にも貢献しています。また韓国では今でも体罰主義が残っています。が、あれは日本人が教えたものです。2年前に、韓国の東亜日報が全国でアンケート調査をしましたが、85%の国民が体罰に賛成しました。

昆 今の日本では「子供の人権を守れ」という議論になります。

金 そうですね。でも、物事がわからない子供に何が人権ですか。そういう主張は、本当の民主主義ではない。ただのワガママ主義です。それで、今の日本の若い人はダメになっているんです。命を大事にすることを知らないし、先生にも逆らう。

そして国家を大事にしていない。サッカーを見ればわかります。「君が代」が流れている時の日本の選手や観客のでたらめな態度にはあきれます。中国や韓国で国歌が流れているときの厳肅な様子とは全く違う。

金文学

■プロフィール (きん・ぶんがく)

1962年、中華人民共和国・瀋陽で韓国系三世として生まれる。85年東北師範大学日本文学科を卒業。すぐに大学で講師を務める。91年来日。同志社大学大学院で修士課程修了。2001年広島大学大学院博士課程修了。現在、呉大学、福山大学、放送大学で教鞭を執る。著書に「『反日』に狂う中国『友好』とおもねる日本」「韓国民に告ぐ!」「中国人民に告ぐ!」「裸の三国志」など多数。





編集長 インタビュー

真の友好関係を結ぶには 互いの文化を正確に理解

昆 実は、中国や韓国におじゃまるたびに、いろいろな方から靖国問題について苦情を言われます。確かに靖国神社には教義的にあいまいな点、不完全なところはあります。でも、多くの日本人がそれを守ろうとしているのに、それに対して外国の人が「するな」と意見してくるのは、私は失礼な話だと思いますが。

金 靖国参拝について、中国が日本政府に何か言うのは、世界的な視野で言えば内政干渉です。

でも、日本の政治家も、靖国神社の存在や参拝について、きちんと説明するべきです。日本では、死んだ

人はみんな仏様で、誰でも祭る。それは日本の文化です。

一方、中国には別の文化がある。中国では、誰かを悪人と考えれば、その人が死んでも鞭打つし、墓をあばいてまで死体を曝したりもする。

日中でこれだけ死者に対する考え方が違うのですから、お互いにきちんと説明し合わなければ。それで理解し合ってこそ、真の友好になります。どちらかが相手の言いなりになるのが友好ではありません。

昆 これはむしろ、日本人の振舞い方の問題なのですね。

金 日本人は同じ集団内では矛盾があってもそれを取り上げず、うやむやにして、とりあえず仲良くやって行こうとする。また、日本人はすぐ謙遜します。「私はだめだ」という

のが美德だと思っている。

しかし、それが国際レベルでの接触となると非常に問題を生じます。

昆 そうですね。しかし、実は日本人のそうした態度は、日本人の自然観に根差した面もあるのです。ところが、それを外国の方に説明してわかってもらうことはとても難しい。理屈では説明し切れません。

金 文化を伝えるのは難しいです。基本的に、理解しようとする姿勢がお互いになければうまく行かない。

昆 ところで、本誌読者にもビジネスで中国とかかわる人が増えてきていますが、うまくいかないことも多いようです。聞いてみると、やはり文化の違いにてこずっている。

金 事前に、中国人の生活パターンや行動原理は調べておくことです。

日本人の中国認識、朝鮮半島認識にはパターンがあります。中国なら孔子や老子を輩出し、文化的に非常に優れた国だと思っている。ところが、いざ現地に行ってみると、不衛生で、人々は大ざっぱで、とてもショックを受けて帰ってくる。

それで、中国というと、あこがれるか見下すかどちらかになって、本当の、真ん中にある真実を誰も見ようとしません。

昆 金先生の本を読むと、そのパターンが吹き飛びます。

金 それから、中国はやはり人脈の社会。人間関係を重んじます。法治国家ならぬ「人治」国家です。

また、中国人は二つの面を持っています。つまり、面子をとっても大事にするけれど、一方で実利も大事にする。それで、実利のためには場合によっては面子も捨てるのです。

だからそこで上手に金を使えばいいんです。よく、「上に政策があれば下には対策がある」と言います。

昆 贈り物に弱いということですね。でも、それで中国は近代的な形で国際化できるのでしょうか。

金 日本人が中国に向くことで先進的な文化が入れば、中国も変わっていくと思います。

昆 私は、逆に、日本にも外国から人々が来るべきだと考えています。

金 東洋史学者の内藤湖南は、中国が滅びなかつたのは、歴史の中でいろいろな民族が入ってきて常に新しい血が入ったからと言っています。その点、日本は民族として老化、停滞しつつあるように思います。

昆 経済的な効果も期待できます。

金 まずは外国人への偏見をなくすことです。アジアの中でも、日本と韓国人がいちばん閉鎖的ですから。

昆 精神が鎖国しているんですね。金 戦前の日本人は、もっと自由に外国に接していたのですが。